

[講演要旨] 新収日本地震史料および拾遺のDB化とその検索システムの作成

山中佳子(名古屋大学大学院環境学研究科)

§1. はじめに

古文書における地震調査はこれまでもだいぶ蓄積されている。特に宇佐美らによって収集された地震に関する古文書は「新収日本地震史料」として21巻、「日本の歴史地震史料拾遺」として現時点で8巻が刊行されている。新収日本地震史料第1巻から5巻まではほぼ年代順になっているが、補遺、続補遺はこれらの追加資料となっている。また日本の歴史地震史料拾遺はその後収集されたものがある程度集まると刊行されているため、どの史料が収集されているかはこれらをすべて確認しないとわからない状況になっている。そのため史料収集に行ったときに新しい史料かどうか簡単には確認できない。そこでこれらを検索できるシステムを構築した。

§2. データベースの構築

今回データベースにするのは以下の資料に載っている史料である。

- ・武者金吉「日本地震史料」
- ・震災豫防評議会「増訂大日本地震史料」
- ・東京大学地震研究所編「新収日本地震史料」
- ・宇佐美龍夫編「日本の歴史地震史料拾遺」

これらの資料に載っている史料について、新収日本地震史料の各史料の最初に書かれている項目をエクセルで入力しデータベース化した。記入した項目は、上記4種類の資料名、掲載ページ、和暦、西暦、地震名、関連地名、史料名、史料の現在の所在、被害を受けた場所、地震を感じた場所である。被害を受けた場所や地震を感じた場所というのはわかりにくい、とにかく今回は元の資料に載っている項目すべてをそのまま入力した。

§3. 「歴史地震史料検索システム」の構築

上記で作成した史料データベースを用いて、様々な項目で検索できるシステムをWEB上に構築した。

「歴史地震史料検索システム」のアドレスは

<http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/HistEQ/>

である。現時点では上記で入力したすべての項目で検索できるようにしているためわかりにくい項目もある。それらについては今後検討する予定である。

現在の検索画面を図1に示す。検索はAND検索、OR検索が選べるようになっており、複数の項目を入れることが可能である。例として西暦1714年で検索をかけた結果を図2に示す。さらに検索結果の史料名をクリックすると入力したすべての情報を見ることができる。

§4. 今後の課題

今回我々は史料収集時の検索を意識して、これまでに印刷物にされている4種類の資料情報をデータベース化した。元史料までたどり着けるとより便利ではあるが、著作権の問題等があるため、今回は史料名検索のみとした。

印刷物が発行された後も史料は見つかっている。それらをどうやって追加していくか、今後検討が必要である。さらに将来的には様々な研究者が発見した地震史料も含めたデータベースの構築をする必要がある。

また今回のデータベースはあくまで地震に関する情報が載っていた史料の一覧であり、本来この裏には地震に関する情報が載っていなかった膨大な史料がある。地震に関する情報がなかったという情報も重要な情報であり、今後はそういった情報も残していく必要があるだろう。

図1. 歴史地震史料検索システムの検索画面

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/HistEQ/>. The page title is "歴史地震史料検索システム" (Historical Earthquake史料 Search System). The search form includes fields for "和暦" (Japanese calendar), "西暦" (Western calendar), "地震名" (Earthquake name), "史料名" (Document name), "被害を受けた場所" (Location of damage), "地震を感じた場所" (Location of earthquake), and "所在" (Location). The "西暦" field is set to "1714". There are radio buttons for "AND検索" (AND search) and "OR検索" (OR search), and a "検索" (Search) button.

図2. 検索結果例

The screenshot shows the search results page for the Historical Earthquake史料 Search System. The page title is "歴史地震史料検索システム". The search criteria are "1つ輸入" (1 input) and "件数: 93件" (Number of items: 93 items). The table below shows the search results.

史料名	頁数	ページ	和暦	西暦	地震名	被害を受けた場所 (月日の後の[]内の地名)	所在
三浦年中日記	新収補遺	341	正徳3年11月20日	1714年1月6日			
三浦年中日記	新収補遺	341	正徳3年12月2日	1714年1月17日			
いにしへの里小舎	新収補遺	341	正徳4年3月15日	1714年3月28日		信濃大明	松本好文舎 信毎書籍出版センター刊
信濃史料誌 上	新収補遺	342	正徳4年3月15日	1714年3月28日		信濃大明	信濃史料編集会 歴史図書社
小谷村西太田文書	新収補遺	342	正徳4年3月15日	1714年3月28日		信濃大明	
年代記 寛保二歳	新収補遺	345	正徳4年3月15日	1714年3月28日		信濃大明	中村武本家文書
曾根康孝一家文書	新収補遺	345	正徳4年3月15日	1714年3月28日		信濃大明	大町市教育委員会史料編集室
江戸幕府日記 写	新収補遺	346	正徳4年3月15日	1714年3月28日		信濃大明	島原松平通
佐竹南家御日記	新収補遺	346	正徳4年4月1日	1714年5月14日			
御禮所日記	新収補遺	346	正徳4年7月22日	1714年8月31日			